

木 工 班

担当者：関和人・高山博史
大山麻美・川上あさり

1. 作業主旨・目的

木工班は、利用者 11 名(男性 6 名、女性 5 名)と、職員 4 名(男性 2 名、女性 2 名)で構成されています。当班の利用者は、癩癩発作、常同行為、強い拘り、突発的な興奮、強い自己顕示欲等があり、作業中に薬の副作用の為に眠気が強くなったり、周囲の状況に影響され激しく興奮したりする事もあります。そのため、作業前のラジオ体操、班メンバーの点呼、作業開始や作業終了時の号令掛け、作業後の掃除などを利用者が中心となって取り組める様に、時間が掛かっても自分で考えて行動できるように配慮しています。

作品においては、コースター、印鑑立て、メモクリップ等のこれまでに作っていた作品に加えて、今年度は、写真立て、木製ベンチ、ベビーチェア、レジン製品等を作成しており、コースターのデザインも変えています。また、今年度は焼印を作成し、作品のデザイン性の向上にも繋げています。作業は、木を切る、皮をはぐ、木を磨く、ニスを塗るといった木工製品を作る上での一連の工程を取り組んでおり、その他の作業として、ビーズ通しに取り組んでいます。これらの作業内容を利用者の特性を活かし、得意な作業に取り組める様に配慮しています。どの作業でも、一つの工程が終わる度に、職員や他の利用者から褒められる事で達成感や満足感を得られるようにし、次も頑張ろうといった気持ちになれる様に心掛けています。1つの作業の中で、少しずつ作業技術が向上し、1人で持続して作業を続ける場面が増えてきています。作業以外の取り組みでは、天気の良い日は学園の周囲を歩き、毎日の作業と併用してペダル漕ぎにも取り組む事で、体力の維持・向上、転倒予防にも努めています。

完成した作品は、毎年 10 月におこなわれる学園祭で販売します。また、今年度は 6 月にギャラリーのぐち様で、作品販売をさせて戴きました（来年 1 月にも販売予定です）。これらの機会が作品が売れた際は、利用者の方へ、自分たちの作った作品を買ってもらえたと伝えて、自信につながるよう配慮しています。

2. メンバー構成

平成 30 年 10 月 1 日現在

園生	性別	年齢	IQ	MA	判定	重複障害
A	男	62	13	2歳4ヶ月	最重度	有り
B	男	40	19	3歳3ヶ月	最重度	有り
C	男	46	19	3歳0ヶ月	最重度	有り
D	男	58	23	3歳8ヶ月	最重度	有り
E	男	58	19	3歳4ヶ月	最重度	有り
F	男	49	27	4歳0ヶ月	最重度	有り
G	女	56	16	2歳6ヶ月	最重度	有り
H	女	48	25	3歳6ヶ月	重度	有り
I	女	54	16	2歳6ヶ月	最重度	有り
J	女	29	7		最重度	有り
K	女	49	16	2歳6ヶ月	最重度	有り

3. 作業内容・工程

【木工作品作り】

写真立て・コースター・椅子など

- ① 木切り……………Aさん、Cさん、Fさん、職員
- ② 加工……………職員（型に沿って木切り）
- ③ 磨き……………Bさん、Dさん、職員（サンドペーパーで表面を滑らかに磨く）
- ④ ニス塗り……………Eさん、Gさん、Hさん(ムラなく塗る)
- ⑤ 組み立て……………職員

【ビーズ作品】

プレスレット・ストラップ・ネックレスなど

- ①ビーズに紐を通す……………Dさん、Eさん、Fさん、Gさん、Hさん、Iさん、Jさん、Kさん
- ②仕上げ……………職員

ペーパー掛け作業



木切り作業



ニス塗り作業



作品（コースター、レジン作品）



作品（ベビーチェア）



作品（木製ベンチ）

